2 0 2 1 年 5 月 1 0 日 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 5月9日午前10時05分頃、FタンクエリアH6タンク本体のフランジ接合部から、20秒に1滴程 度の水が滴下していることを当該エリアのタンクパトロールを行っていた協力企業作業員が発見し ました。
- 滴下した水はタンク内に貯留している5.6号機滞留水であり、滴下範囲は約20cm×約20cm×深さ 約1mmです。
- 滴下した水はFタンクエリアの堰内に留まっていること、および敷地周辺モニタリングポスト、 連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。
- また、漏えいした水が拡大するのを防止するため、同日午前10時27分頃、現地に水受けを設置し て滴下する水を集水するとともに、午後0時58分頃、養生を実施しております。
- なお、当該漏えい水については、直近(2021年3月12日)に採取したタンク内包水の分析結果か ら、セシウム-134:2.08×10⁰Bg/L、セシウム-137:5.33×10¹Bg/L、全ベータ:1.73×10³ Bq/Lであることを確認しております。

■ 今後、フランジ接合部から水が漏えいした原因を調査するとともに、応急的な対策として止水材に て漏えい箇所を補修してまいります。また、準備が整い次第、タンクの内包水をエリア内他タンク へ移送してまいります。

> : 5月9日に漏えいが 確認されたタンク

:5月7日に漏えいが

: 4月25日に漏えい

: 2月13日の地震に

されたタンク

: 当面の間

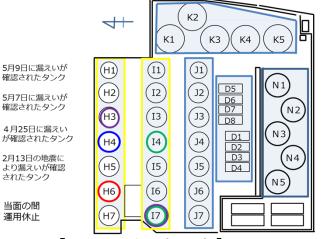
運用休止

より漏えいが確認

確認されたタンク



【Fタンクエリア位置図】



【F1Tリアタンク】



【H6タンク養生状況】